日本学術会議緊急フォーラム

新型コロナウイルス感染症の災害級流行急拡大への対応

2021年9月11日（土）13:25～16:10（13:30より開始）

デルタ株の蔓延などから新型コロナウイルス感染症の流行が全国で急拡大しており、災害級の人的被害を生じるのではないかと危惧されている。本フォーラムでは、流行予測体制、人流抑制（行政）、変異株の脅威、治療（病院）、感染者の同定と管理・医療調整（保健所）、などの現場で新型コロナウイルス感染症と対峙されている基礎医学・臨床感染症学・感染症流行予測などの分野の専門家、行政・保健・医療関係者に、現在必要な緊急対応をご提言いただく。

どなたでもYouTubeで視聴できます。詳細は日本学術会議ホームページのイベントサイトにアクセスしてください。事前質問も受け付けております。

総合司会：武田洋幸（日本学術会議会員・第二部部長）
開会の辞：望月眞弓（日本学術会議会員・副会長）

「新型コロナ感染シミュレーションの現状と今後」
北野宏明（内閣官房新型コロナウイルス感染症対策・AIシミュレーション検討会議座長）

「新型コロナウイルスの懸念される変異株：なぜ変異株は脅威なのか?」
渡辺登喜子（大阪大学微生物病研究所教授）

「医療の現場から」
大曲貴夫（国際医療研究センター国際感染症センター長）

「学術と行政の連携」
●「学術の立場から」田中純子（日本学術会議連携会員）
●「行政の立場から」白井千香（枚方市保健所長・全国保健所長会副会長）

まとめと閉会の辞：磯 博康（日本医学会連合副会長）

主催：日本学術会議第二部、一般社団法人 日本医学会連合　後援：日本生命科学アカデミー